

2022年度 大学院授業評価アンケート

文学研究科・人間社会研究科

◆この授業はどのような形式でしたか。

教員の講義を中心とする形式	18.0%
学生の発表を中心とする形式	16.4%
ディスカッション、対話による指導を中心とする形式	27.9%
以上を複合した形式	37.7%

履修者	124
回答者	61
回答率	49.2%

◆授業評価アンケート

	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. シラバスはわかりやすかった。	70.5%	23.0%	6.6%	0.0%	0.0%
2. 授業のために十分な予習、復習を行った。	65.6%	31.1%	1.6%	1.6%	0.0%
3. 授業には意欲的、積極的に取り組んだ。	82.0%	18.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 授業、研究指導は自身の研究の遂行に役立った。	77.0%	16.4%	6.6%	0.0%	0.0%
5. 全体として授業、研究指導に満足している。	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%

◆意見や要望（研究設備・研究環境・研究支援等を含む）

・対話形式の授業とても面白かったです。
 ・先生が毎回適格な指導をしてくださり、研究を前に進めることができました。また、意見を言いやすい環境でした。授業中に先生を意見を交わすことで、新たな気づきを得ることもできました。
 ・毎週先生と意見を交わすことで、研究を進めることができました。先生の指導のおかげで、新たな気づきを得ることや、自分の考えを整理することができました。
 ・ひらめきがないとつまってしまうので、学生一人と教員で行うには少々難しい内容だった気がしています。可能であれば、学部生や博士後期生と混ぜてやる方がアイデア・ひらめきという点では利点になるような気がしました。
 ・熱心に私の説明を聞いてくださり、的確なアドバイスをしてくださいました。授業の終わりには、どの方面を調べていくべきかを導いてくださり、次の授業までにやるべきことを明確に持つことができました。授業の内外で大変充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
 ・毎回適格なコメントをくださり、自分にはなかった新たな視点に気付くことができました。
 ・いつも丁寧に指導くださり、大変感謝しております。授業内でのアドバイスはもちろん、授業後にまとめてくださるコメントは、次までどう進めるかという大きな指針となり、大変ありがたかったです。指導教官以外の意見やアドバイスを伺うことができる、非常に貴重で必要な授業であり、今後の研究に大きな影響を与えてくださったと思います。大変お世話になりました。ありがとうございます。
 ・私が古文を読み慣れない中、ご指導していただきありがとうございます。「猫の草紙」や「ねこ物語」といった猫に関する古典作品を読むことができ良かったです。また、様々な解釈や考え方があり、勉強になりました。
 ・研究発表会前に様々な意見をいただいたり、研究に役立つ情報をおしえていただくことができ良かったです。自分では思いつかないような意見を聞くことができました。また古筆等の作品を見たり、お話を聞くことができとても興味深く、面白かったです。以前よりも作品を楽しむことができるようになりました。
 ・専攻が異なるにも関わらず、様々な発表を聞いていただき、ご指導を賜うことができ良かったです。自分ではわからなかったような点に気づくことができました。また、先生自身の専攻のお話も興味深いものが多く、面白かったです。ありがとうございました。
 ・この授業を通して自分の知る少女漫画の世界がごく狭いものであったのだと感じました。少女漫画について新たな発見や知ったことがあり、興味深く、面白かったです。また、コマやフオントの数を数えたことを含めて、少女漫画とは奥深く一筋縄ではいかないものなのだと思います。
 ・進めている研究内容をみていただき、自分では思いつかないような観点からご意見をいただくことができ良かったです。またご指導いただき、自分の調査や、論に対する根拠が不足していると感じることが多かったので頑張りたいと思いました。
 ・毎回真摯に指導してくださり、出席するたびに自分の研究が進むのを感じます。研究者として独り立ちするための指導をしてくださるのを感じます。
 ・いつも丁寧に指導していただき、大変感謝しております。これからもあきらめず、研究を続けていきたいと思っております。その中で、先生にいただいたアドバイスを今後も何度も思い出すことと思います。
 ・大変満足しております。

◆授業改善に関する報告

・「授業には意欲的、積極的に取り組んだ」に対する回答が「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて100%となっているのは素晴らしいことです。
 「全体として授業、研究指導に満足している」が100%になっているのは、まさにその成果だと思います。
 ・「シラバスはわかりやすかった」に対して、6.6%が「どちらともいえない」と回答しています。
 シラバスは各教員が執筆した後第三者チェックを行っています。わかりやすさについて、執筆時だけでなく、チェック時にも留意するようにします。
 ・「学生一人と教員で行うには少々難しい内容だった」「学部生や博士後期生と混ぜてやる方がアイデア・ひらめきという点では利点になる」というご意見がありました。
 この点については、各授業のテーマにより異なる部分もあるかもしれませんが、大学院生自体の人数を増やすという方策も含め、検討して行く予定です。